

原村の地域おこし協力隊が発行するかわらばんのことです。  
原村で暮らす、おもしろくて素敵なひとを紹介します。



## 「ハラカツ！大人代表」

田口 夕季さん（51）

兵庫県出身。結婚後東京で暮らしていたが、自然に囲まれた環境で子育てをしたいとの思いから、10年前に大好きな八ヶ岳の麓の原村へ移住。現在は介護施設での仕事の傍ら、中高生の居場所作り「ハラカツ！」の大人代表、冒険遊び場スタッフや星空のイルミネーション実行委員会、消費者の会などに所属し、地域活動に精力的に参加されている。



原村に住んでいる子どもたちにも

原村を大好きになってほしい

自然に囲まれた場所で子育てしたいの  
思いから原村へ移住した田口さん一家。  
実際に住んでみると想像していたもの  
と違い、外に子どもを遊びに連れて行っ  
ても誰も遊んでいなかった。自然に囲ま  
れてはいるけれど、そこは誰かの土地で  
子どもが自由に遊べる場所ではなく、大  
人が思っている以上に子どもが自由に遊  
べる場所がないことに気が付いたという。

そんな時、東京で暮らしていた時に参  
加していた『子どもが自由に自分の発想  
で好きなことをして遊べる場を作りたい』  
という想いを持った「冒険遊び場」とい  
う活動が原村にもあることを知り、スタッ  
フとして参加することにした。冒険遊び  
場では火をおこしたり、ノコギリで木を  
切ったり、泥だらけになったり、大人か  
ら見ると少しハラハラしてしまう場面も  
ある。「危険なことから学ぶことって沢山  
あるんだよね。怪我をして身を守る術を  
身に付けたり、喧嘩をすることでコミュ  
ニケーションを学んだり。遊びの中には  
大切なことが沢山詰まっている」と子ど  
もにとっての成長のチャンスを大人が手

を出さず、そっと見守ることの大切さを  
教えてくれた。

田口さんは原村を元気にしたい、原村  
に中高生の居場所を作りたい、という想  
いから中高生が中心となって活動をして  
いる『ハラカツ！』というグループの大  
人代表も務める。原村では地域の繋がりが  
強く、保育園から中学校まで同じメン  
バーでみんな一緒に成長する。その分、  
高校進学で初めて外へ出た時に戸惑いが  
大きいのだと言う。原村には徒歩圏内に  
集える場所がなく、自然と村から離れて  
しまう。それがとても寂しく感じたと言  
う。「原村で生まれた子どもたちが楽しい  
時間を地元でたくさん過ごすことで、もっ  
と原村を好きになってほしい」と語った。  
子ども時代に楽しく過ごした思い出は  
かけがえのない財産となり、やがてそれ  
は生まれ育った故郷への愛情へと変わる。  
たくさんの地域活動をされている田口  
さんの根底には、その想いが溢れている。

\*

子どもたちと常に同じ目線で接する田  
口さんは子どもたちの頼れる大人代表だ。

